



# あさまる通信

第41号 12月

発行：習志野販売株式会社  
〒275 - 0016  
千葉県習志野市津田沼 5-11-10 吉田ビル 3F  
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357  
URL http://www.asamaru.com/  
e-mail info@asamaru.com

※プレゼントは裏面にあります。

最近では、このカボチャの重さは「と大きなオレンジ色のカボチャをスーパ―等で目にする事もありますね。あのオレンジ色のカボチャは食用ではなく、中を繰り抜き目鼻口をつけたハロウィンの提灯の飾りに使います。「ジャック・オ・ランタン」(カボチャ提灯)という名前前でハロウィンには欠かせない飾りです。家の中ではコトコトとくもも葉を張つ

ハロウィンの起源は古代ケルト暦で10月31日が1年の終わる日と考えられ、夜には死者の霊が家に帰ると言われているものです。また妖精が旅に出る日とされ、この時妖精は邪悪の性質を帯び魔物を伴って現れるため魔よけの祭りとして、魔物を鎮める為に人々は供物を差し出しました。それが、中世の頃から死者を遠ざけるために、仮装した子供達が近所の人を驚かせて歩き菓子をねだるようになったのが由来のようです。



◆ハロウィンパーティー  
10月31日(日)に谷津地区でハロウィンパーティーがありました。谷津1丁目英語教室を運営している和田さんの所から、谷津コミュニティセンターまでの道を仮装して歩き、コミュニティセンターでパーティーをするというものした。出席者は英語教室の生徒さんと和田さんの娘さんが通っている幼稚園の友達70人です。

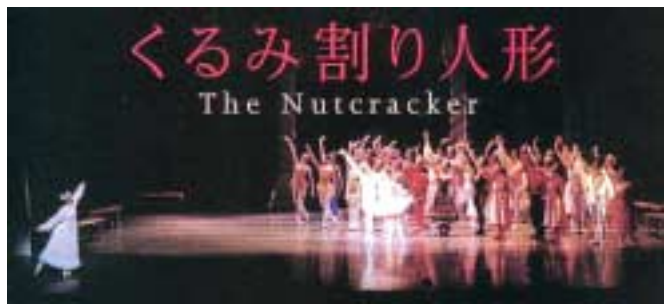
天然活性酸素入り  
**目薬 天領水**  
余分な活性酸素を退治し  
サビない体に  
お問い合わせは  
習志野販売(株)まで

さて、今回のハロウィンパーティーは昼間に行われました。子供達はそれぞれに、魔女やコウモリ、カボチャのお化けなど、さまざまに仮装します。最近では「ハリー・ポッター」の影響がとんがり帽子にマントといういでたちの子も何人かいました。子供達は「Trick or Treat!」お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ!という意味)と大声で叫びながら歩きます。途中の家であらかじめ用意してお菓子を貰い、嬉しそうに歩きます。お菓子を貰うと元気が出て、さらに声が大きくなります。用意してお菓子もあつという間に無くなりました。コミュニティセンターに到着すると、パーティー本番。歌を歌ったり、英語でクイズをしたり。マシユマロを手に使わずに食べる競争の時は、口の周りを粉で真っ白にしなが楽しんでいました。和田さんが「スパイダー(くも)」と名付けたケーキを美味しく食べて、みんな心の底から楽しんで帰って行きました。



たよりに飾り付けをし、悪霊が出そうな雰囲気を出します。

## あさまる info



◆谷桃子バレエ団 くるみ割り人形 全2幕  
日時 平成16年12月11日(土)  
午後1時(開場) 午後1時30分(開演)  
会場 習志野文化ホール(JR津田沼駅南口前)  
チケット 《前売券》S席5,000円 A席4,000円 B席2,000円  
《当日券》S席6,000円 A席5,000円 B席2,500円  
問い合わせ先 NPO法人 ならしの子ども劇場  
電話 047-451-3676 (受付:午前9時30分~午後4時30分)  
◆ワイがやフリーマーケット  
日程 平成16年12月12日(日)  
会場 京成津田沼駅前ロータリー広場  
\*当日は、歳末売り出し抽選会、街かど音楽会、ロータリー広場イルミネーション点灯式など同時開催  
◆星空の祭典 袖ヶ浦西隣公園シンボルツリー  
ライトアップセレモニー  
日時 平成16年12月18日(土) 午後4時20分~午後6時  
会場 袖ヶ浦西隣公園  
内容 習志野第三中学校吹奏楽演奏、ならしのスウィングソサエティの演奏、合同合唱、\*当日は、ココア・甘酒などが振る舞われます。  
◆菊田こどもかるた大会  
日時 平成16年12月19日(日) 午前10時~  
会場 菊田公民館3階講堂  
対象 小学生  
問い合わせ先 菊田公民館 電話 047-452-7711



◆谷津つ子探検隊  
10月28日(木)当社のASA谷津店(新聞販売店)に谷津小学校仲良し4人組の谷津つ子探検隊の女の子が来店しました。これは小学2年の生活科の授業の一環として市内の公共施設や店舗、会社などを自分達で選択し、訪問、体験するグループです。昨年の11月にも男の子のグルー

プが訪れたばかりです。4人は大きな声で「おはようございます」と挨拶し、1人1人が自己紹介をしました。そして対応した谷津店の課長にたくさんの質問をぶつけて来ました。「朝は何時ごろから働いているのですか?」「1人で何軒くらい配達するのですか?」「聞いた「知られざる新聞屋さんの姿」への疑問が多かったようです。課長が「午前2時ごろから休憩を挟みながら午後8時くらいまで働いています」「配達が多い人は30軒ぐらいいですね」と丁寧に答えると、「大変そうですね」と言いながら一所懸命にメモを取っていました。最初は恥ずかしそうにしていた探検隊も話すうちに慣れてきて、次第に笑顔を見せるようになりました。

次にお店の中の探検です。見慣れない機械が多く、新聞を束ねてくる紐を細かく切断するPPカッターや雨の日の配達後のユニフォームを乾かす乾燥室、新聞が濡れないようにビニールバックする機械など興味をそそられる物ばかりのようです。4人は教わりながら順番に新聞にビニールバックする機械を操作しました。新聞を機械に入れると、すぐにビニールがかぶさった新聞が出て来ます。それが不思議なようで、交代で動かすたびに「おー」と感心していました。新聞屋さんの知らなかった一面を見たり、体験したりして谷津つ子探検隊は満足そうにしていました。



(写真)体験する生徒たち